

阿部矢二教授略年譜

英文科へ入学。母の家を継ぎ阿部姓になる。

昭和二十七年九月十五日 東京市芝区柴井町十一番地で出生。父有川矢九郎の第七男である。

同三十八年十一月 父の郷里鹿児島市山之口町へ移る。

同四十一年 鹿児島県立第一中学へ入学。第三学年頃から独歩・秋声・花袋・藤村等を読みはじめる。現在にいたるまでの文芸愛好癖の発端である。

大正二年三月 同中学卒業。

大正二年十二月 陸軍士官学校入学。

大正四年一月 同校より放校される。

同年九月 第七高等学校造士館一部甲類へ入学。在学中牧水・哀果・啄木・茂吉・子規などの短歌に親しみ、自らも作歌を試みる。

昭和二年 母死亡とともに会社勤めをやめる。

昭和三一九年 同志社高等商業学校教授、経済原論、植民政策を担当。同二十一年より現在まで立命館専門学校教授。現在、立命館大学教授、経済原論、農業政策を担当。

同七年 同高等学校を卒業・東京帝国大学文学部

同八年 同大学経済学部経済学科へ転科。河上肇

博士の「社会問題研究」を通じてはじめてマルクスの名を知り、経済学学修の方向をほぼさぐりあてる。